

美しい錦川のそばの美川小学校

美川町立美川小学校



水に浸かった校舎の1階部分

04 55

水に浸

ひつくり返り、まるで大地震の後のようにでした。その上、床には一面に泥が積もっていました。水のひいた7日早朝より、先生方や保護者で後始末に追われました。幸い自宅が無事だった私も加わりました。まずは何とか学校の早期の再開をと、保護者の方々も集まりました。しかし、スコップなどの道具も、流されてしまつて何もなく、作業はなかなかはからず、授業の再開の目途などまったくたなづかしい状態でした。しかし、先生方も保護者も、また、休校での自宅待機のはずの6年生たちも加わつて一生懸命に作業を続けました。のけてものけても一向に泥はなくなりませんこんな状態が、1日、2日と過ぎていきました。3日目を過ぎたころから町内外からボランティアの方々が集まり、いろいろな物資も届けられ作業が、飛躍的にはかどりました。何とか週明けには、授業が再開できるようと、もくもくと復旧作業を続けました。その甲斐もあって予定通り週明けに授業を再開することができました。

しかししながら、グラウンドも、体育館も使用できず、トイレも仮設で、不自由な状態がしばらく続きました。

半年後の2月、ようやく校舎1階への引越しを先生方と保護者、山大生やボランティアの方の協力で行うことができました。

大変な経験ではありました、が、人々の温かい心にたくさん触れ、たくさんのことを学ぶことができました。

いろいろな学校のPTAの方々から多くのご支援・ご協力をいただき、この場を借りて、お礼申上げます。ありがとうございます。

510校 神原中学校



ンバ踊りで「ネルギッシュ」にパレード

自負心を持っています。運動会
で大きな学校行事運営の裏方と
いうように直接参加したり、月初め
にいさつ運動、年2回の広報誌の
自主運営で実施されています。
家庭教育学級の講座を各部の相
り見た子どもたちの様子や家庭
教育コンサートや金子みすゞに
にわたつて研修をしました。
動としては、レポート例年本市
祭りで、NANBAを生徒たち
ること、夏季休業中に校区の教
生のキャンプに共催という形で
BAとは、炭鉱で栄えた頃に作
に合わせて作られた踊りを、ス
今風にアレンジされた踊りで、
とてもエネルギーです。
子どもたちと一緒に踊る時間
空間はとても清々しく熱いも
のです。小中合同のキャンプ
は、十種ケ峰で2泊3日の行
程ですが、中学生の参加も年々
増え、異年齢団体での社会性
を培ううえで大きな役割を果
たしています。これもそれも
本校PTAの団結力の賜です
お陰で、生徒もPTAも元気
一杯の学校です。



広報紙は橋 がけ編集後記

地域の方々の協力を得て子ども達の安全確保がなされた年であった。
しかし、大規模校においては、学校や子ども達の情報が地域の方々に十分届いていないようを感じられた。

これらの各単Pの広報紙は、学校や子ども達と地域をつなぐ情報のかけ橋となつてほしい。
手に取って読みたくなる、便利に活用できる、そんな広報紙が求められるのでは・・・

山口県PTA連合会「小学生・中学生総合保障制度」

- | | |
|----------------|----------------|
| プランは保護者の病気を・・・ | ⑤研修奉仕活動中の受託物賠償 |
| 病気補償（お子様） | ⑥携行品補償（お子様） |
| 傷害補償（お子様） | ⑦被害事故補償（お子様） |
| 傷害医療費用補償（お子様） | ⑧育英費用補償（扶養者） |
| 個人陪償責任補償（ご家族） | ⑨特定感染症補償（お子様） |

問い合わせ先 ⑩マイホームドクター 24
県PTA連合会 小学生・中学生総合保障制度係
リーダイヤル 0120-714-855
(制度引受専門会社) A.I.U.保険会社 広島支店

おめでとうございます

豊中俊行 德光康美

宇部市立恩田小学校愛育会
山陽小野田市立赤崎小学校
松原分校育友会

平生町立佐賀小学校PTAA

文部科学大臣表彰

第36回 日本PTA中国ブロック研究大会 山口県周南大会

講師：水谷 修 氏

『高めよう！生きる力と見守る力』



1年を振り返って

皆様には1年間大変お疲れさまでした。1年を振り返ると、記憶に残るのは子ども達が犠牲となる忌まわしい連れ去り事件です。私たちはこの怒りを安全を守る活動のエネルギーに変え、我が街からは絶対に事件を出さないという決意をもって活動を継続しましょう。

また、山口県でもメディアを騒がせた事件が発生しました。下関では学校内の中学生の自殺、光では高校生の爆弾事件。その後、県教委で生徒指導対策協議会が発足し多方面での協議がありました。私は有害情報部会に出ておりました。インターネットの発達により有害情報が簡単に手に入る昨今です。しかし、教育の現場ではメディアリテラシー教育や情報モラル教育はあまり進んでいません。最近やっと企業による教育プログラムが目付くようになりました。是非、活動に取り入れてメディア教育を推進して頂くようお願いします。県PTAのホームページでも役立つ情報をたくさん載せていきます。ご意見もメールで送れますのでご覧ください。これからも皆様の活動を支援できる県PTAであり、共に手を取り子どもたちの育成に邁進していく所存です。



事務局だより



1年間、県PTA連の事業にご協力いただきありがとうございました。県PTA連のHPの携帯サイトを近日中に公開しますのでご利用ください。

18年度もよろしくお願いします。

行政機関との連携（発信と収集・分析）

山口県PTA連合会は、山口県教育委員会などとの情報共有化にも努めています。

山口県は昨年「児童生徒のインターネット利用状況調査を実施、県PTA連から棕木博（広報委員長）が会議に出席し、結果報告を受けました。

家庭でのインターネット利用の低年齢化、有害情報の接触率が高まっているにも関わらず、家庭でのフィルタリングソフトの導入率は低いことなども課題として挙がっています。また、携帯電話で嫌な思いや迷惑を受けた経験のある子どもがパソコンの場合よりも多くなっているようです。

行政機関との連携は様々な行動とともに、行政の持つ様々な情報を収集したり分析をすることも、山口県PTA連合会の重要な役割となっていました。

広報委員会

- ・広報紙「おやごころ」発行
- ・広報紙研修会開催
- ・広報紙コンクール開催



教育問題委員会

- ・県教育委員会との懇談会
- ・研究指定校実績報告書作成
- ・「いのちの教育」「心の教育」についての協議



父母亲委員会

- ・母親代表懇談会開催
- ・子育て親育て研修大会（池間哲郎氏をお迎えして）
- ・活動報告書の内容活用の検討



健全育成委員会

- ・家庭の日の推進
- ・ノートレビューノーゲーム実施
- ・有害環境浄化に関する取り組み



総務委員会

- ・合併に伴う組織の見直し
- ・会則諸規程の見直し
- ・海外体験学習の周知
- ・開催地の検討
- ・安全互助会制度の周知と自主運営について



第31回 広報紙コンクール

写真賞



かつやま
下関市立勝山中学校「耕心」

レイアウト賞



応募総数 173点
小学校121校、中学校52校の中から
慎重な審査の結果、下記のとおり
入選が決定致しました。

企画賞



総評

審査委員長 産本 力

本年度の傾向を一言で言うと「粒ぞろい」。前年に比べると「これはどうなっているんだろう」と思う作品は大幅に減り、全体が底上げされたという印象を強く受けました。特にレイアウトや写真のテクニックの向上には目を見張るものがあります。その分、優劣をつけるのに悩みましたが、結果として審査委員の見る目はほぼ一致し、広報紙としてバランスのとれた作品が上位に残りました。

特集やアンケートでは、定番ともいえる「食の在り方」「親子の関係」に心理テストを入れたり、残りもので作る簡単レシピを盛り込むなど一段と工夫が凝らされていました。最近導入されたキャリア教育のアンケートが登場するなど、時代の流れに対する反応もなかなかのもの。数は減りましたが、心温まる川柳やセンスあふれるマンガも印象に残りました。ある学校が「PTA度チェック」という気になるアンケートを掲載していたので、やってみましたが、「環境整備に参加したか」「広報紙を読んでいるか」「会長の名前を知っているか」など心にズキンとくる質問が並び、やり終えると自分の関心度がぐっつき。正面から参加を呼びかけるよりよほど効果があるので…と感心しました。

このほか印象に残ったのは小規模校の健闘です。新入生は数名で、広報部員の確保もままならないのではと想像されるのに、地域とがっちり手を組み、読み応えのある特集や地域の話題などを手づくり感あふれる紙面に仕上げている学校も何校かありました。広報紙づくりの原点ともいえる姿にエールを送りたいと思います。

教育の地方分権、教育基本法の見直しなど教育改革の流れが続く中、子どもを主人公にしたPTA活動はこれまで以上に重要になってきています。広報紙がそのリード役となるよう今後も大いに期待しています。

知事賞



いちのみや
下関市立一の宮小学校「一の宮」

目次の言葉がうまいですね。「表紙の言葉～長崎は今日も坂（？）だった」「ご近所の底力～みんなで守ろう子どもたちのわ」など、思わずページをめくりたくなるようなキャッチコピー。生徒、保護者にとって最も関心のある先生たちの紹介も「あるある一の宮小先生のビタミンウォーター」のタイトルで、目を引くイラスト入りで各先生の「励まされた一言」を並べ、読ませる内容になっ

ています。そのほか、学校のコミュニケーションの説明や地域の安全パトロール隊の紹介、「心のキヤッチボール」アンケート、食の問題など、派手ではありませんがPTA機関紙としてバランスのとれた内容になっているのが評価されました。20周年記念誌表紙を飾った教頭先生のイラストも素晴らしい出来栄えでした。